



大議発第 89 号
令和 8 年 2 月 26 日

大江町長 松田清隆 殿

大江町議会議長 宇津江 雅 人



一般質問について（通知）

来たる 3 月 3 日からの令和 8 年第 1 回大江町議会定例会において、下記のとおり質問がある予定ですので、あらかじめ通知いたします。

記

質問者	質問事項	質問の要旨
大沼清人 【一問一答質問】	旧小学校にデータセンターを	<p>昨年秋、我々議会総務文教委員は、旧七軒東小学校ならびに旧本郷西小学校を視察した。すでに廃校になって相当の年月が経っており、両校とも殆ど活用されない状態が続いている。今後の利活用の目途は立っておらず、解体するにも巨額の撤去費用が発生する。</p> <p>このままでは日々劣化する休眠資産として「負の遺産」を後世に残すことになる。</p> <p>そこで利活用について次の提案を行いたい。</p> <p>趣旨；民間のデータセンター（DC）の誘致</p> <p>世界的に生成 AI の利用が加速度的に進み、日本でもデータセンターの建設が相次いでいる。</p> <p>○本町誘致の優位点；</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 両校の施設の災害対応力・・・立地条件や建物の堅牢性もあり災害対応力が高いと思われる 2. 寒冷な気温により冷却電力が節約可能・・・雪と冬季の低気温により DC の消費電力が大幅にセーブできる 3. 河川の利用も可能・・・月布川の水も利用可能で、通年の冷却資源として活用できる <p>○本町のメリット</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 遊休施設の民間への売却により解体費用負担を免れる 2. 誘致企業の法人税・固定資産税を新たに財源として計上できる 3. 地域の雇用や活性化に資する <p>○クリアすべき点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 光ファイバーの増設が必要・・・左沢から現地

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>(十八才あるいは貫見) までの線芯増設工事が必要</p> <p>2. 関連企業との支援交渉・・・多額の電力消費があり電力会社、NTT との協議が必要</p> <p>3. 県を巻き込んで環境整備の財政支援が必要 すでに DC の廃校活用の事例もある。(某企業は 2015 年に廃校となった佐賀県旧有徳小学校を改装、DC 事業を推進)</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
	<p>技術職職員の採用は</p>	<p>本町の中長期的な課題として、約半世紀前に建設した社会インフラの維持・管理への対応が大きいと勘案する。</p> <p>特に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が著しい上水道配管 ・耐震化工事が求められる基幹管路 ・橋梁や町道の維持管理 <p>と、今後の新規施設建設などが今後予算の大半を占めると思われる。</p> <p>現状は役場内で上記の技術的な専門家が育っておらず、計画策定などは殆ど外部のコンサルタントに頼っていると感じる。</p> <p>また現在の建設水道課業務の役務発注形態は、仕様発注がもっぱらで、民間の発想を引き出す性能発注に至っていないと推察する。上記職の職員は、人事異動もあり、技術的知見を積み上げるのは困難ではないかと思う。</p> <p>そこで技術職の採用並びに育成が必要と思われる。</p> <p>今後インフラの整備において一般職だけでは不十分と思われるが、町長の考えを伺う。</p>
<p>安 食 幸 治 【一問一答質問】</p>	<p>夏まつり大会に備えた堤防工事を</p>	<p>夏まつり花火大会、百目木地区堤防工事につきましては、先の 12 月定例議会をはじめ、これまでの定例議会でも多くの議員が町執行部に対して、一般質問を行い意見、要望等をおこなってきました。町長は、その一般質問に対して、親切丁寧に答弁をされたことに感謝申し上げます。</p> <p>365 分の 1 の水郷大江夏まつり大会で使用する川端、百目木地区ですが、水郷大江夏まつり大会の決算書に記載されている内容には、大会会場整備にかかる費用が観覧席等にかかる項目で 2,297,371 円の決算報告がなされております。</p> <p>夏まつり花火大会は大江町の年間行事の中で最大で、来場者も最大であります。今後、かわまちづくり協議会と町を中心に、重要文化的景観を損なわな</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>い堤防建設を進めていくわけですが、そこでの提案であります。</p> <p>まず、観覧席にかかる費用を少しでも抑えるために、堤防建設時にコンクリートとなるのであれば、升席の枠を作り毎年かかる費用を軽減するものです。</p> <p>もう一点は、堤防建設時に設置するであろう街路灯を活用して、電気仮設工事費を抑えることです。外観は重要文化的景観に合うようにデザインして、春に桜、夏に花火と灯籠流しなどに利用すれば、毎年かかる費用を花火代にすることができるのではないのでしょうか。花火大会での工事を請け負って多大なるご寄付をいただいている町内業者の皆さまには、大変申し訳ございませんが、山形県で一番古い大江の花火大会がいつまでも続くことを願っての提案です。町長の考えをお聞きします。</p>
	JR 左沢線利用促進策は	<p>皆さまも十分ご存知の通り、大江町を含む近隣の町では、少子化の急激な加速に伴い J R 左沢を主に利用する高校生が減少し、左沢・寒河江駅間が赤字路線になっております。</p> <p>大江町では、J R 左沢線存続のために、地域おこし協力隊を専門に配置して、J R 左沢線の魅力と情報発信に力を入れており、100 周年記念フェスから毎年同フェスを行っております。大江の物産味覚まつりをはじめ、おおえの秋祭りの開催など、J R 左沢線の存続のために町をあげてお力を頂いていることに心より感謝いたします。</p> <p>J R 左沢線沿線には、歴史的にみても貴重な物が多くあります。中山町の長崎駅に行く途中、最上川にかかる鉄橋。そして県内では珍しい、2つのトンネル。これらの J R 左沢線の資産というべき残存のものを利用して、J R 左沢線の利用拡大に繋げては、というのが今回の提案であります。</p> <p>第一に、J R 左沢線に乗ってもらうことが大前提ですので、夢のような話ですが、特に寒河江、左沢間の利用拡大のために J R 左沢線に乗らないと見れないものを作る。具体的には、トンネルの中に電飾をするか、蓄光塗料を塗り、たとえば青函トンネルのツルのようにする。幸い J R 左沢線の運行時間は、午後から空いておりますので全国に参加者募集をかけ町民、左沢高校生 J R C の皆さん、大江中ボランティア夢懂布の皆さんに協力してもらい完成する。</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>もう一つの案は波切り不動尊の麓に、先に述べたように皆さまから協力してもらい、絵や電飾を飾るものです。左沢線に乗らないと見られない、体験できない行事をすることによって、利用拡大に繋がると思います。</p> <p>J R左沢線の存続の夢を現実にするための提案です。町長の考えをお聞きします。</p>
<p>土 田 勵 一 【一問一答質問】</p>	<p>町のPR看板について</p>	<p>町のPR看板について、新規就農者や地域おこし協力隊を目指し、お試し体験の為に来町する方々にとって意気込みを感じさせる内容を示すことが重要であり必要不可欠であります。</p> <p>また、新規就農者を目指し何処に定住するか迷っている方にとって、大きな励みに成るのではないのでしょうか。</p> <p>更に、移住したいと考えている方にとって、これまでの考え方や思いを変えられるような内容のある看板が欲しいものです。</p> <p>何時だったか私の一般質問の中で「李のブランド化」と“日本一李の町を目指す”べきと提言しております。</p> <p>その中で町長は“日本一李の町を目指したいと答弁されておりますし、私の提言と合致しておりますので提言致します。</p> <p>約1年位前に成りますか、これまで在ったある自治体（町）の看板の内容が、がらりと変えております。</p> <p>また、これまで在った看板と似通った内容の看板を、隣の自治体（町）の近くに設置しておまして、道路から100メートル以上離れた場所に設置しておりますけれども、目立ちません。</p> <p>言葉が悪いですが、それを逆手に取って例えば、国道458号の最上橋に近い大江町の玄関口に、目に留まる7メートル位の高さで幅1メートル位のインパクトのある“日本一李の町を目指す大江町”の看板を設置するのは如何でしょうか。</p>
<p>伊 藤 慎一郎 【一問一答質問】</p>	<p>社会資本の充実を</p>	<p>現在、道路や上下水道の老朽化、色々な社会資本の見直しが言われております。農道、農業用ため池、農業用水路などもそのうちに入るかと思えます。</p> <p>先人たちが私財を投げうって、将来のことを考えて投資を行ってきたのかと思えます。頭の下がる思いです。私たちもそれを継承し投資をして次世代に託していかなければと考えます。</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>まず、道路から申し上げます。例をあげますと町道や農道は、幅員 5 メートルもあれば素晴らしい道路でありましたが、今では車社会になり車同士安全にすれ違いが出来るような道路でなければなりません。歩行者が通る道路であればなおさらです。</p> <p>一例を申し上げますと、森之宮橋のところから中学校に行く道路で、農道だろうと思いますが、軽トラックもすれ違うことができないところが中学生の通学路になっているのではないかと。早急に道路を広げて歩行者も安心して通れる様にしなければならないのではないかと考えます。是非とも検討していただきたい。</p> <p>前にも質問いたしましたが、町道藤田堂屋敷線も最初は農免農道として造られた道路でありますから、地盤が悪く地下に埋まっている水道管などが壊れることがありました。</p> <p>お陰様で諏訪堂中山線の交差点まで改良工事が完成しました。ぜひその先も続けていかなければと思います。</p> <p>町内にある農道や町道を広げたりして、改良工事を時代に合ったようにしなければならないのではないかと考えますが如何でしょうか。</p> <p>大江町には北堰、南堰、各地区にはかなり長い農業用水路があり、また数多くの農業ため池があります。これを維持管理していかなければなりません。農業人口が激減している中で、少人数での維持管理が大変になってきております。</p> <p>怠ると、災害になるからなおさらです。農業用ため池も老朽化が進み、順次改良工事をしておりますが、スピード感を持って進めていかなければと思います。如何でしょうか。</p> <p>先人たちが開田をしたり基盤整備の工事を、また用水路改修工事をしてきたから現在は米を作れるのであって、私たちも農道を改修したり、農業用ため池を改修して安心して私たちの食料である米作りが出来るようにお手伝いを、少しでもしてやるのが私たちの使命ではないでしょうか。</p> <p>今、国の方でも田んぼダム等の補助事業などがあります。是非とも進めていきたいものです。町内の基盤整備のなっている水田は出来るだけ早く工事をしていかなければと思います。今年度の計画はどのようなになっておりますか、町長に伺います。</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>水田農業の規模拡大、コストを下げるには絶対に必要な事業です。如何でしょうか。</p> <p>明治用水（愛知用水）はご存じでしょうか。明治用水は愛知県の矢作川を水源として、豊田市水源町で取水し、8市にまたがる矢作川右岸の農地をかんがいた水利工事です。明治6年から明治13年にかけて岡本兵松・伊豫田与八郎（いよだよはちろう）らの協力で開発、このように全国各地で土地改良事業が行われてきたからこそ現在米が作れるのであって忘れてはいけません。むしろこれを参考にしてこれからも継承していかなければと思います。如何でしょうか。</p> <p>町内には開墾碑、竣工記念碑などがあります。まさに後世に伝えていくための記念碑だろうと思います。ただ結果を残しただけでなく、後はよろしく頼むよと言われているのではないかと思えてなりません。</p> <p>町長の考えを伺います。</p>
<p>廣野 秀樹 【一問一答質問】</p>	<p>大江町の林業に更なる支援策を</p>	<p>山形県による地域再生計画では、森林資源の積極的利活用と森林づくりをセットにした長期戦略が策定されております。</p> <p>大江町として、我が町の森林の恵みを未来にしっかりと繋ぐために、森林経営管理制度、財政の確保と森林整備として、森林環境贈与税の活用、西山杉材利用促進事業、地域主体の森林づくり活動など、多面的な枠組みで進められています。</p> <p>それらの取り組みは、十分に評価されるものと思いますが、さらに、人口減少、高齢化など、林業の担い手不足や森林放棄といった課題に対応し、資源有効活動など、次世代に豊かな森林資源を引き継ぐ体制づくりを引き続き進めるべきと考えます。</p> <p>林野庁が、『森の国・木の街』づくり宣言に参加する自治体・企業体を令和7年10月1日から募集を開始しています。</p> <p>その内容は、我が国の豊かな森林の恵みを未来にしっかりとつなぐためには、「植えて、育てる」ことに加え、使うことが不可欠です。</p> <p>私たちは、森林の整備に繋がる木材の活用を通じて地球温暖化の防止に貢献するとともに、木とともに生きる地域の未来を育む「森の国・木の街」づくりに取り組むことを宣言します。とあります。</p> <p>大江町として、これまで地域主体の森林づくり活</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>動や多面的にも木材活用などの事業を進めております。</p> <p>この林野庁の事業に参加することにより、本町の事業の推進に役立つ情報提供や助成金など利用し、例えば、西山杉の間伐材などを利活用して、道路等のガードレールに使用していくなど、我が町の森林の恵を新たな事業推進などに役立つと考えます。自治体として、是非参加するべきと提案致します。</p> <p>町長に伺います。</p>
<p>菊 地 英 幸 【一問一答質問】</p>	<p>今後の除雪体制は</p>	<p>ここ数年温暖化の影響なのか、雪質は水分量を多く含んで重くなり、雪かきが大変重労働になっていると感じる。また、集中的に雪が降り、短時間で多く積もる傾向が見られる。</p> <p>そこで、町の除雪や排雪等について伺う。</p> <p>①冬季の除雪オペレーターは6名だが、この人数でいいのか。</p> <p>病気（風邪、インフルエンザ等）により体調不良で休みが必要な時は、交代する人がいなく、除雪や排雪作業が困難になる。そこで、いつでも交代出来るように人材育成をしていくべきと考える。</p> <p>②町内の排雪作業については、ワンオペで、大型ロータリーでダンプトラックに積み込みしているのが現状で、歩行者や車が注意しながら通行している。誘導する人がいなく安全性を無視していると感じる。改善するべきである。</p> <p>③町営バスの停留所等の除雪や排雪体制はどのようなになっているのか。</p> <p>④町民の除雪、排雪について、町内の道路は狭い所も多く雪を置くところもないのは分かるが、自力で家庭用の除雪機械で軽トラックに雪を積み込み、雪捨て場まで運んで排雪する人もいるなかで、車の通行に支障が生じるような雪の出し方はいかかなものか。</p> <p>モラルの問題もあるが、住み良い町づくりのためにも行政で指導して行くべきと考える。</p>